

補助事業者アンケート結果(東日本大震災を受けて)

*平成23年度 JKA 補助事業(▲機械・●公益)要望手続説明会時に、313 補助事業者から寄せられた主な意見。

人(サービス・活動)に対する支援	1. ボランティア活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ①●ボランティア活動支援 ②●ボランティア保険への補助 ③●被災地復興ボランティアへの電動機付き自転車等の購入の助成 ④医療チーム、介護職員の派遣、臨床心理士、カウンセリング、コーディネータの派遣 ⑤医療キャラバン隊による被災地・避難所の巡回診療ボランティア活動への支援 ⑥人命救助のための救命救急法の普及啓発 ⑦災害救助犬の育成 	<p style="text-align: center;"><u>その他の意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> >被災者同士が励まし合え、相談できる環境(SNS)の提供 >被災地中小企業の機械設備復旧支援 >被災した企業が安価な料金で利用できる賃貸工場の建設 >企業における機械的特性評価装置等の修繕や再購入 >被災地全体をカバーする広域無線LAN環境の整備 >LEDや太陽電池パネルの設置など施設の低電力化の補助 >東北の塩害対策の実施 >介護がしやすく、在宅で終末を迎えられる先進的住宅の実践・研究補助 >ガイガーカウンターの提供、研究費の補助、放射能検査設備の導入補助 >仮設住宅・仮設診療所建設 >省エネ住宅、耐震住宅建設 <p style="text-align: right;">等</p>
	2. 子供、高齢者、障害者支援	<ul style="list-style-type: none"> ①●心のケア(子供達と要介護者)に対する補助 ②被災団体への支援 ③小学生、中学生等の小さい子供に対して災害を被らないための「安全教育」の実施 ●子供達のコミュニティ作り、遊び場作り ●相談事業、情報提供事業への支援 ●震災孤児、被災孤老に対する支援 	
	3. イベント関連支援	<ul style="list-style-type: none"> ①中学生・高校生節電アイデアコンテストの実行による中学・高校への助成 ②大震災の3D映像を講演会で紹介 ③世界中から有識者を招へいする復興会議の開催 ●まち興し復興支援イベント(コンサート、お祭り等)に対する補助 ●自転車教室等スポーツ教室開催、被災県横断自転車ロード大会の開催 ●被災者・避難所生活体験者による講演会開催 ●子ども達を元気づけるためのトップアスリートの派遣 ●被災地産の物産展事業 	
	4. 研究開発支援	<ul style="list-style-type: none"> ①被災して研究の継続が困難となった大学の研究者への研究費補助 ②被災地域の企業と共同で行う研究開発に対する補助 ③被災地への研究者受入れ支援 ④防災用具・避難生活対応用品製作(ダンボールシェルターハウス等)の開発 ⑤人命救助、物資支援に使われる個人ベース(一人乗り)の移動手段の開発 ⑥電動機付き自転車及び小型自動車による家庭規模スマート発電システムの研究 ⑦節電型電動機付き自転車の開発 ⑧家庭内電力の節約のための先端的システムの開発 ⑨自立電源を備えた機械の開発 ⑩省エネ機器の研究 ⑪高レベル原子力放射線被ばくの影響およびその防止法に関する研究 ⑫原子力放射能吸収材料に関する基礎研究 ⑬簡易核シェルターの開発 ⑭レスキューロボット・無人作業ロボット、放射能汚染除去・低減化技術等の実用化技術開発 ⑮遠隔操作可能なロボットの高性能バッテリーの開発 ⑯被災地域の瓦礫の処理について、バイオマス燃料(木炭)・バイオマスガス燃料への再生可能エネルギーとしての有効利用するための研究 ⑰ITを活用して、新しい海岸線や海中及び海底の障害物の分布状況、海底地形を的確に把握・表示できる瓦礫撤去支援システムの研究 ⑱被災後の被災地標高地形データの作成に対する補助(正しい標高把握により、今後の住宅建設地などを明確にする為の空撮) ⑲災害に強い機械の研究 ⑳超電導マグネットを使用した免震装置等 ●農作物、魚介類を原料とした燃料転換プラントの研究 ●淡水化・浄水化関連の研究 ●クリーンエネルギーによる発電事業に対する研究 ●自転車に配慮した都市計画に関する研究 ●災害に強い町づくり(コンパクトシティ、スマートグリッド、スマートハウス等)に関する研究 	
もの(物資・設備)に対する支援	5. 物資・機器の支援	<ul style="list-style-type: none"> ①被災地の公設機器修理・再購入・拡充 ②自転車(自動二輪車)、リヤカー等の提供(支給・貸出)とその機器を修理するサービス ③発電機や太陽電池などを直接被災地に支援 ●物資輸送トラック、支援物資、燃料の支援 ●被災地向け食材生産事業、配送事業 ●自転車(ノーパンクタイヤ自転車含む)、リヤカー付自転車の提供 ●一輪車(手押し車)、電動自転車、バイク等の提供、車椅子対応の普通乗用車の提供 ●入浴車整備、簡易シャワー施設設置 	
	6. インフラ整備支援	<ul style="list-style-type: none"> ①医療関係機関情報、求人情報等、被災者が必要とする情報の入力・検索・閲覧・収集等が可能な仕組みの構築 ②自転車ロード整備、駐輪場整備支援 ③被災地の児童、生徒の教育、学校復旧 ④被爆者の心身ケア・回復法に関する研究 ⑤災害対策向けカーシェアリングシステムの構築 ⑥東北の塩害対策の実施 ●無償巡回バス(地域公益バス)への補助 ●医療、福祉施設再建、被害を受けた福祉施設・建物の建築・補修 ●被災した障害者の居住の場(グループホーム、ケアホーム等)の確保 ●障害者専用の避難所設置 	
資金支援	7. 義援金支援	<ul style="list-style-type: none"> ①●義援金 ②奨学金 ③食料提供 ●育英資金 	

補助事業者の皆さまへ

補助事業者 各位

財団法人 JKA

東日本大震災で被災された方々の安全と一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

この未曾有の大災害を克服し、日本の社会、国民が以前の笑顔を取り戻せるよう、JKA の補助金が少しでもお役に立てればと考えております。

長期化、広域化した今回の災害に対し、社会が直面する課題・解決に貢献していくこと。そうした使命を果たすことが、今、本財団が行う補助事業にも求められていると思います。

つきましては、下記について、補助事業者の皆様のご意見、ご提言をいただければと存じます。いただいた貴重なご意見、ご提言は、外部委員で構成する補助事業審査・評価委員会において、今後の補助事業のあり方を検討するにあたり、参考とさせていただく所存です。

趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

1. 補助対象事業について

「JKA 補助事業でこんな事業が補助対象であれば、効果的な復興支援活動ができる」というものがあれば、ご記入ください。（貴団体が実施する場合でも、一般論としてでも結構です。）

2. 補助の方法について

「このように補助が行われれば、効果的な復興支援活動ができる」というものがあれば、ご記入ください。（現在の JKA 補助事業の仕組みにとらわれず、自由にご回答ください。）

3. その他

その他、ご意見、ご提言があれば何でも結構ですので、ご記入ください。

今後も、本会としてできる限りの震災支援を行ってまいりますので、補助事業者の皆様におかれましては、より一層の補助事業へのご理解をお願い申し上げます。

ご協力ありがとうございました。